

平成 21 年度第 3 回理事会抄録

日時：平成 21 年 7 月 18 日（土） 13：00～16：45

場所：日本作業療法士協会事務所 10 階会議室

出席：中村（会長）、山根、岩瀬（副会長）、荻原（事務局長）、古川、長尾、岩崎（監事）、杉原（顧問）、香山、小林（毅）、小林（正）、早川、大熊、山本、土井（常務理事）、大丸、坂井、日垣、三澤、陣内、生田、苅山、北山、谷、東（理事）、久保田（部長）、望月（委員長）関（士会連絡協議会長）富岡、太田、片岡、澤田、伊藤（旧監事、理事、委員長）

1. 審議事項

1. 平成 21・22 年度の新体制について（中村会長）

1) 役員体制（案） 前期と同じく担当理事制とし、担当理事の人数も全体的に増やした。→承認

2) 会務運営体制（案） 作業療法 5 ヶ年戦略の迅速な展開に向けて新しいメンバーを多く推薦した。→承認

3) 特設委員会の設置について

(1) WFOT 世界大会実行委員会（仮）（山根副会長）2014 年 WFOT 世界大会組織委員会の構成が提案される。9 月に組織委員会が立ち上がる。→承認

(2) 公益法人制度対策委員会（仮）（荻原事務局長）平成 21・22 年度の特設委員会として設置し、公益認定に向けた検討結果を 2010 年 3 月・5 月に報告する。→承認

(3) 協会史料収集・編纂委員会（仮）（荻原事務局長）創立 50 周年（平成 28 年度）に向け協会関連史料の収集・編纂を行う。→承認

2. 規約の整備

1) 名誉会員の投票権と総会議決権について（荻原事務局長）名誉会員に投票権があったとした定款施行規則 17 条は定款と矛盾するため修正し、併せて名誉会員に関する規程第 7 条も修正する。→承認

2) 保健福祉部分掌事項の改正について（荻原事務局長）福祉用具部の分掌事項との整合性を図る必要から、現行 8 項目ある分掌事項を 5 項目に改正する。→承認

3. 第 7 回協会・都道府県作業療法士会合同役職者研修会（案）について（大熊前士会担当理事）9 月に行う研修会のプログラムの詳細を説明。「作業療法 5 ヶ年戦略」に関するテーマ設定（文言）と「広報戦略」の講演について意見が出された。→承認

4. その他

1) 平成 20 年度第 12 回認定作業療法士審査等委員会報告（望月認定作業療法士審査等委員長）6 月 27 日に平成 20 年度の再申請者についてのみ審査を行った。認定更新者 17 名、認定保留者 9 名。新

規認定者 1 名、認定保留者 4 名。書類不備で保留が多いことについて意見が出される。→承認

II.報告事項

1.第 43 回日本作業療法学会実施報告（太田学会長）参加者 3,557 人のうち事前登録者が 76%と多かったのは参加費に差をつけた結果と思われる。社会貢献としての「機器展示無料開放」「公開講座」「献血」に 420 名の参加を得た。1つの会場ですべてを行い、スリムな運営ができた。

2.第 44 回総会報告（伊藤前総会議事運営委員長）会員の 2 分の 1 の委任状回収に向け努力したが、3000 ほど不足。議事進行については予定時間が超過し、質疑を打ち切ることとなった。今後、総会の開催時間について検討が必要という意見が多く出される。

3.財務部報告

1)平成 21 年度 7 月以降の財務スケジュールについて（久保田財務部長）「8 月 28 日、補正予算申請締切」等のスケジュールの説明。これに対し、主要目標との関係、改選時期の影響などからスケジュールの見直しが必要の意見が多数出され、見直した案を再提出する。

2)平成 21 年度補正予算案作成時の留意事項（久保田財務部長）「1500 万円の収入減額補正をする」「現実的な事業計画を」等の留意事項の説明に対し、収入の減額補正を毎年することになるのか、補正で減額できるところは減額するが、目標に掲げた事業は執行すべき等の意見が出される。

4.障害福祉サービスに係る作業療法実態調査報告（大丸保健福祉部担当理事）保健福祉領域における作業療法の課題、役割、方向性の整理を目的に業務状況の調査を実施した。報告書の扱い方については再度、案を作成する。

5.心大血管リハビリテーションへの対応について（中村会長）心大血管疾患リハビリテーション料の算定要件への作業療法士の職名追加に関する依頼のため心臓リハ学会の副理事長を訪問。心臓リハ学会会員 6,200 人のうち OT は 80 人と非常に少ないため、指定はむずかしいという感触。協会として会員の教育、啓発活動が必要。

6.渉外活動報告

1)テクノエイド協会評議員会に出席（大丸理事）

2)厚労省（山根副会長）診療報酬関連で急性期の実施時間の見直し、精神科リハビリテーションの総合実施計画等を要望。

3)共用品推進機構活動報告会に出席（大熊理事）

4)リハビリテーション医療関連 5 団体の会議に出席（中村会長）2010 年度診療報酬改定に向け、総合リハビリテーション料、各疾患別 2 段階の要望案が提示された。

5)IT 機器モニターレンタルモデル事業講習会に出席（早川理事）

6) 日本医療技術者団体連絡協議会に出席（小林（毅）理事）公益法人への移行状況の情報交換がされる。

7) 訪問リハビリテーション振興会に出席（土井理事）

7.理事会審議概要書の使用について（荻原事務局長）理事会における円滑な審理進行を目的とし、審議概要書の書式を使用することとしたい。

8.その他

1) 医学会総会シンポジウムについて（小林（正）理事）作業療法に関係するテーマ4つが現在残っており、協会に依頼が来る可能性が高い。候補者リストを事務局に置いていくのでよろしく願います。

2) 精神保健フォーラムについて（香山理事）協会が事務局となって開催したフォーラムが終了した。プログラムの中身は充実していたが、参加者が予想を下回り、作業療法士の参加者も非常に少数だった。今後の課題となる。

以上